

CLTパネル用吊り金物

「吊るゾー」

取り扱い注意事項

# 「吊るゾー」のご使用について

このたびは「吊るゾー」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。「吊るゾー」はCLTパネル等の大型木質パネルの運搬用として開発された吊具です。

## 正しいご使用のお願い

作業の安全と能率を高めるため、梱包ケースに同梱されている「取り扱い説明書」の内容を十分にご理解頂いた上で、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

## 安全性の確認

性能試験にて使用可能荷重の2倍（パネルを地面に水平に吊る）または1.75倍（パネルを地面に鉛直に吊る）の荷重を掛けても異常がないことを検証し、使用可能荷重内での安全性を確認しています。

## 「生産物賠償責任保険」付き

「吊るゾー」は万一に備え、通常の使用下で品質上の欠陥により発生した損害に対して補償する「生産物賠償責任保険」に加入しています。ただし、故意・使用方法の誤り（不安全行為）・部品の消耗により発生した損害は補償の対象となりませんので、ご注意ください。



# 安全上のご注意

「吊るゾー」をご使用になる前に、必ずお読みください。

「吊るゾー」は誤った使い方をすると、吊ったパネルの落下などの危険な状態になります。ご使用前に、必ずこの取り扱い注意事項をお読みなり、正しくお使い頂けますようお願い申し上げます。



「吊るゾー」を購入され使用される事業主はもとより、作業される方に「クレーン作業安全基準」「玉掛け作業安全基準」「貴社の作業安全基準」などを教育し、作業される方が「吊るゾー」取り扱いの知識・安全の情報・注意事項について理解されていることを確認の上、作業に従事させてください。

この取り扱い注意事項に使用する注意書きを下記「危険」「注意」の2つに区分しています。




	<b>危険</b>	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起これ得て、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	<b>注意</b>	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起これ得て、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性、および物損的障害が想定される場合。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に繋がる可能性があります。記載されている内容を必ず守ってください。



## ●記号の説明

	<b>禁止</b>	禁止行為であることを告げます。
	<b>指示</b>	行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の近くに具体的な指示内容が記載されています。

## 1. 取り扱い全般について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取り扱い説明書および取り扱い注意事項の内容を理解していない人は使用しないでください。</li><li>・ 法定資格がない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。</li><li>・ 吊り上げ運搬中や反転作業中には、吊り荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないでください。</li><li>・ 木質パネルの運搬作業以外には使用しないでください。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 作業開始前点検や定期点検を必ず実施してください。</li></ul>	 指示

## 2. 作業前の確認について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 作業方法に適合しない場合は使用しないでください。</li><li>・ リンク部の変形が無いこと、止め輪の変形、浮上がりが無いことを確認してください。</li><li>・ 目視にて亀裂が無いこと、溶接取付け部に溶接外れや亀裂が無いことを確認してください。</li><li>・ C L Tパネル等の木質パネル以外の吊り荷には使用しないでください。</li></ul>	 禁止



# 危険

- ・ 下図に記載されている B 及び H 寸法に異常がないことを確認してください。
- ・ 吊り荷の荷重が「吊るゾー」の使用可能荷重以下であることを確認してください。



指示

① H : リンクの頂点の摩耗量、摩耗限度

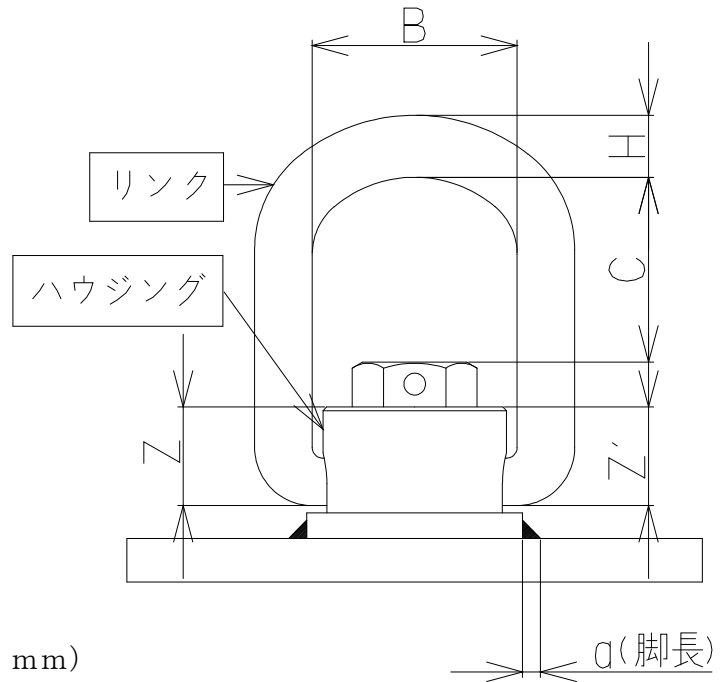
5%以内

② C : リンクの伸び、伸び限度 5%以内

③ Z、Z' : リンクとハウジングの連結

部の摩耗、摩耗限度 5%以内

④ a : 溶接脚長



吊るゾーの基準寸法 (単位 : mm)

B	C	H	Z、Z'	a
57	52	17	27	5

(注) リンクは鍛造品のため多少の寸法公差がありますので、初期寸法の測定をお勧めします。

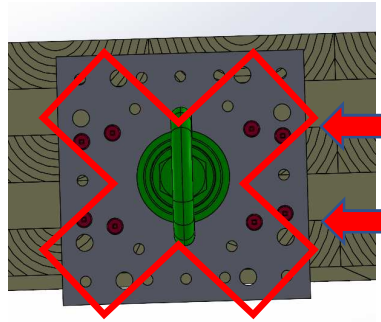
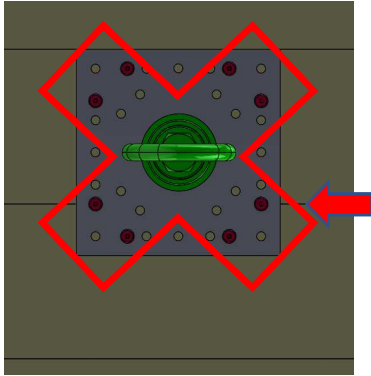
## 吊るゾーの使用可能荷重基準

使用個数 (個)	使用方法	使用可能荷重
2	パネルを地面に鉛直に吊る場合	2 t 以下
4	パネルを地面に水平に吊る場合	4 t 以下

### 3. 使用方法と玉掛けについて

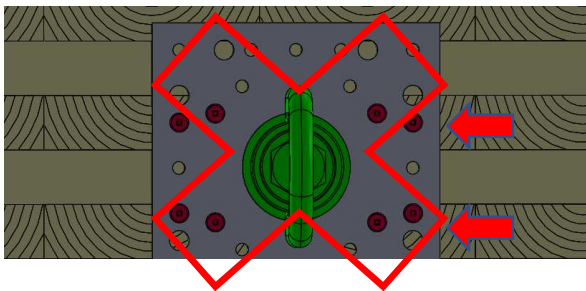
## ⚠ 危険

- 1点吊りで「吊るゾー」を使用しないでください。
- 強風時、危険が予想される場合は、「吊るゾー」を使用しないでください。
- 「吊るゾー」をパネルに取り付けるとき、パネル材面のラミナとラミナの目地、パネル木口のラミナ積層境界にねじを撃ち込まないでください。



禁止

- パネルを地面に対して鉛直に吊る場合は、ラミナの木口にねじを撃ち込まないでください。



- 一度使用したビスの再利用はしないでください。



# 危険

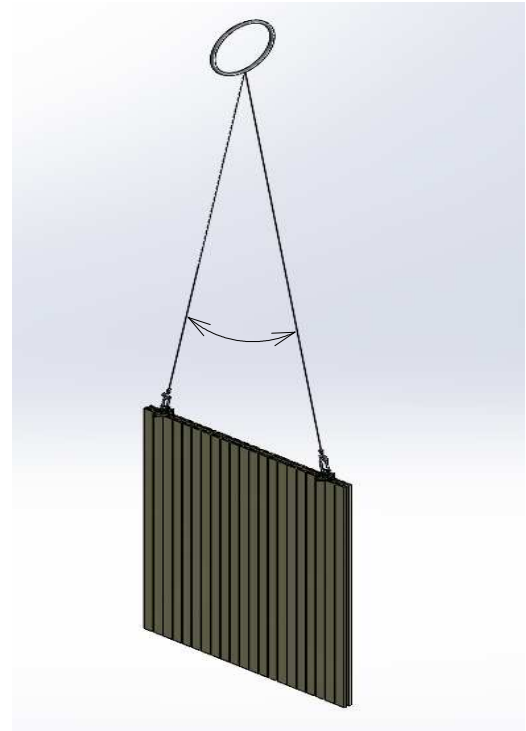
- ・「吊るゾー」を取り付けた状態でリンクが自由に180°起倒すること、ハウリングが滑らかに回転することを確認してください。
- ・玉掛け作業、パネルの運搬作業は必ず有資格者によって行ってください。
- ・パネルを地面に対して水平に吊る場合は、スリングの吊り角度が60°を超えない範囲でパネルの4隅に近い4箇所「吊るゾー」を取り付けてください。
- ・パネルを地面に対して鉛直に吊る場合は、スリングの吊り角度が50°を超えない範囲でパネルの木口2箇所に「吊るゾー」を取り付けてください。



指示



60° 以下



50° 以下

スリングの吊り角度



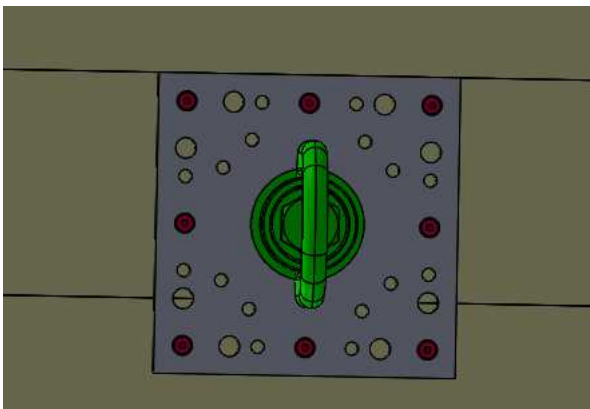
# 危険

- 「吊るゾー」とパネルは四角穴付きタッピングねじ STS・C65（Zマーク表示金物）にて接合してください。ねじの位置と数は下図の通りです。ねじ位置には、パネルに欠けなどの欠点がないことを確認して取り付けてください。



指示

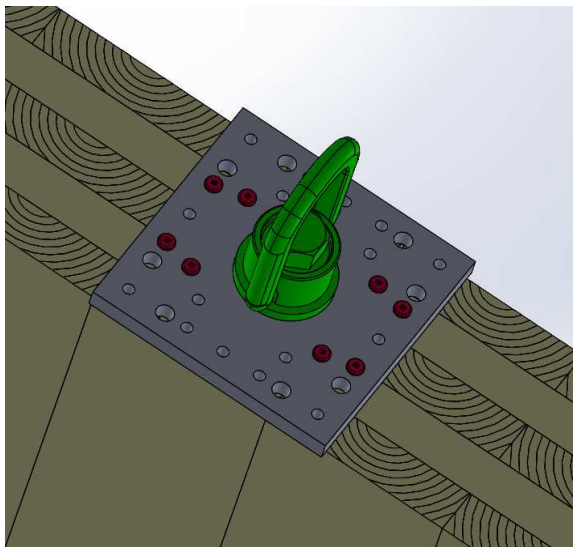
- 水平に吊る場合



ねじ数：8本

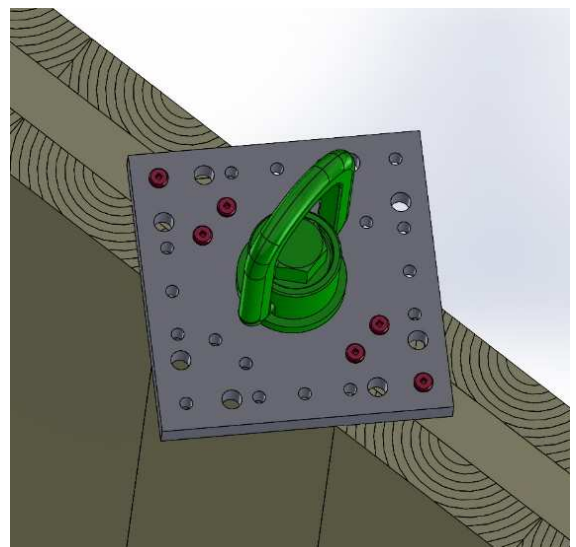
- 鉛直に吊る場合

5層5プライ以上



ねじ数：8本

3層3プライ



ねじ数：6本





## 注 意

- ・「吊るゾー」を投下したり、損傷を与えるような取り扱いはしないでください。



禁止

### 4. クレーン操作について



## 危 険

- ・吊り荷や「吊るゾー」に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないでください。
- ・「吊るゾー」で吊ったパネルに人は乗らないでください。人が乗る用途には使用しないでください。
- ・油圧ショベルでは、「吊るゾー」は使用しないでください。



禁止

- ・クレーン操作は必ず有資格者によって行ってください。
- ・クレーンで吊る時、吊り環に荷重が掛かった時点で、一旦停止して、安全確認をしてください。
- ・着地前に一旦停止して、吊り荷の傾きや転倒の恐れがないこと、着地場所とその周辺の安全を確認してください。



指示



## 注 意

- ・吊り荷を引きずるようなクレーン操作はしないでください。
- ・「吊るゾー」で吊り荷を吊ったまま、クレーンの運転位置から離れないでください。








禁止

- ・クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行ってください。



指示

## 5. 保守点検・保管・改造について

 <b>危険</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・「吊るゾー」の分解は、絶対にしないでください。</li><li>・「吊るゾー」の改造または追加工は、絶対にしないでください。</li><li>・修理が必要な「吊るゾー」は、正常品とは別の場所に保管し、誤って使用されることがないようにしてください。</li></ul>	 <b>禁止</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・定期点検は「取り扱い説明書」の手順・基準に従って実施してください。</li><li>・定期点検で異常が見つかった時は、そのまま使用せずに、ただちに修理または破棄してください。</li><li>・「吊るゾー」の修理は事業所が定めた専門知識がある人が行ってください。</li></ul>	 <b>指示</b>
 <b>注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・保守点検、修理をする時は、必ず吊り荷がない状態で行ってください。</li><li>・保守点検、修理をする時、点検作業中（『点検中』など）の表示を行って、誤って使用することがないようにしてください。</li><li>・「吊るゾー」の保管は、必ず室内で行ってください。</li></ul>	 <b>指示</b>